

〈テーマ〉 「解決したい！」児童の疑問を課題に取り上げた取組

【実践の概要】

前時の課題

「3けたのわり算の筆算のしかたについて考えよう」(734÷5)

- ・ 自力解決での児童の疑問
⇒ 一つずつ数字を下ろすことは分かった。でもなぜか・・・が分からない。

本時の課題 (児童の疑問をもとにしたもの)

「十の位の計算をする時一の位の4を下ろしてはいけないわけを友達に分かりやすく説明しよう」

自力解決

- ・ 自分たちの課題を何とか解決したいと図を描いたり、友達と話し合ったりしながら解決に取り組んだ。
- ・ 自力解決の時間を12分と考えていたが、「もっと時間がほしい」「休み時間も考えたい」という言葉が出るほど課題を解決したいという意欲が見られた。

集団解決

- ・ 3人の発表から共通点を見いだした時、十の位の計算は十のまとまりで計算するので、一の位の数を下ろしてはいけないということに気付くことができた。

児童の疑問を課題として取り上げ、十分な自力解決の時間を設定したことで、筆算の意味理解につなげることができた。



〈前時〉



○児童の疑問

- C わり算の筆算では1つずつ下ろすと計算できるんだ！
- C どうして1のくらの4をいっしょに下ろしてはいけないのかな？

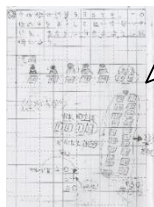
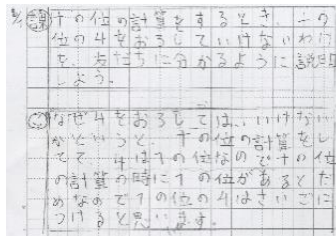
〈本時〉

○課題をつかむ

十の位の計算をするとき、一の位の4下ろしてはいけないわけを友達に分かりやすく説明しよう

○自力解決→図や式を使って

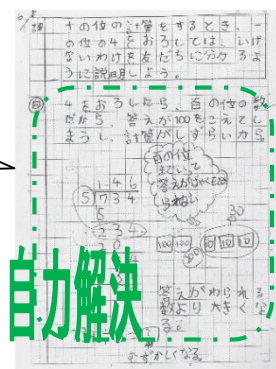
- C あっ！下ろした2は百のまとまりが2つだ。十のまとまりに直すと、20だ！
- C 10の位の計算は10のまとまり23を5でわればいんだ。



○集団解決【学び合い】

→ それぞれの考え方の共通点を見つける

- T 3人の考え方に共通したものは何でしょうか。
- C まとまりごとに計算する。
- C 3は30のまとまり、4は入らない。



友達の考え

ふり返り

